

姫路市におけるコンベンション開催による  
経済波及効果の推計報告書

2022年度（令和4年度）概要版

2023年3月  
公益社団法人姫路観光コンベンションビューロー

## 姫路市におけるコンベンション開催による経済波及効果(令和4年度)

### 【コンベンション経済波及効果】



### 【コンベンションの開催実績】

この経済波及効果は、姫路市内で令和4年度に兵庫エリア以上を参集範囲として開催された69件のコンベンションのうち、姫路観光コンベンションビューローの補助金対象31件の参加者アンケートと32件の主催者決算書を基礎データとして算出・推計したものです。

- ◆コンベンション開催件数 . . . . . 69件
- ◆コンベンション参加者総数 . . . . . 38,047人  
( 宿泊者数 . . . . . 10,916人)  
( 日帰者数 . . . . . 27,131人)

### 【種類別集計】

種類	件数	人数
大会・学会	54件	20,358人
スポーツ	15件	17,689人

## 調査概要

### 目的

コンベンションの開催が、地域の社会や経済にもたらす波及効果は、極めて大きいものがある。社会的には、国内外への情報発信や交流の拡大により都市のイメージアップに結びつき、経済的には、主催者・参加者の消費により地域経済の活性化に貢献する。

本経済波及効果の推計は、経済界はもとより、行政及び民間各分野、市民の皆様に対して、コンベンションの理解促進を図り、コンベンションの有効性を検証するために実施したものである。

### 対象

姫路市内で令和4年度に兵庫エリア以上を参集範囲として、開催された69件のコンベンションのうち、当ビューローの補助金交付対象31件の参加者アンケートと32件の主催者決算書を基礎データとしている。

### 方法

直接的経済効果については、対象となったデータをもとに69件の参加者関連消費支出額と主催者関連消費支出額を推計し合算、間接的経済波及効果については、「平成23年姫路市産業連関表」、「平成23年兵庫県産業連関表」を使用して算出、合計したものを経済波及効果総額としている。

## 令和4年度コンベンション開催による経済波及効果の推計結果

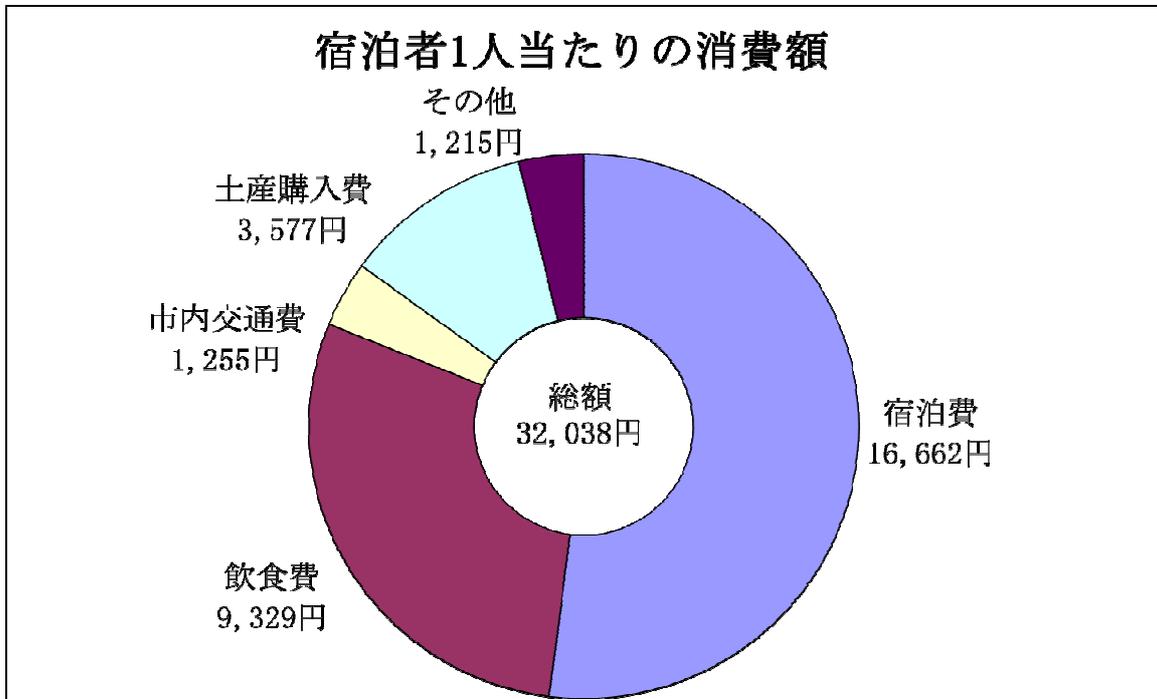
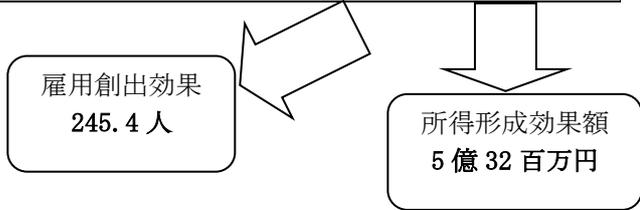
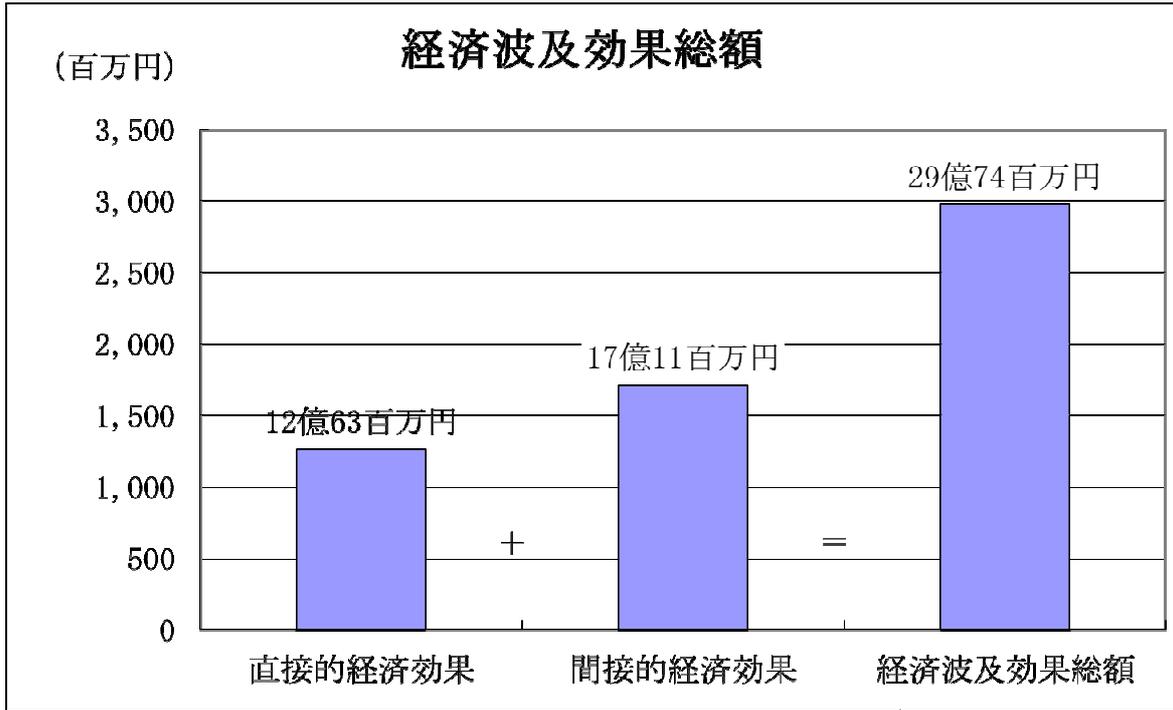
(令和4年度姫路市内開催コンベンションの特徴)

・開催件数	69件
・参加者総数	38,047人
(宿泊者数)	10,916人
(日帰者数)	27,131人
・経済波及効果総額	29億74百万円
(直接的経済波及効果総額)	12億63百万円
(間接的経済波及効果総額)	17億11百万円
・宿泊者一人あたりの消費額	32,038円

※件数、参加者数については、当ビューローが把握している兵庫エリア以上のコンベンション

### コンベンションとは

「コンベンション」とは、「学会・大会・会議」、「行事・催事」、「展示会・見本市」、など何らかの目的を持って大勢の人が集まることを総称して用いられる言葉である。コンベンションが開催されると、人、物、情報の交流を通じて、地域活性化のエネルギーが生まれる。



## 2022年度（令和4年度）の経済波及効果

### 観光消費の経済波及効果

2022年度（令和4年度）において、兵庫県姫路市で開催された各コンベンション〔大会（一部エクスカーションを含む）・学会・スポーツ〕への参加者が、同市にもたらした観光消費の経済波及効果（直接的経済効果額と間接的経済効果額との合計）は29億74百万円と推計される。

	2022年度総計	大会・学会	スポーツ
<b>経済効果額総計</b>	<b>¥2,974,397,389</b>	<b>¥2,501,479,554</b>	<b>¥477,495,748</b>
<b>直接的経済効果額計</b>	<b>¥1,263,227,244</b>	<b>¥1,061,903,828</b>	<b>¥203,263,355</b>
参加者による消費支出額	¥549,329,575	¥376,794,404	¥173,471,881
主催者による消費支出額	¥713,897,669	¥685,109,424	¥29,791,474
<b>間接的経済効果額計</b>	<b>¥1,711,170,145</b>	<b>¥1,439,575,726</b>	<b>¥274,232,393</b>
生産誘発効果額（一次+二次）	¥1,711,170,145	¥1,439,575,726	¥274,232,393
一次生産誘発額	¥1,440,367,220	¥1,207,357,432	¥235,235,497
（一次生産誘発による付加価値額）	¥719,314,489	¥616,824,886	¥103,584,673
（新たな民間消費支出）	¥582,304,908	¥499,336,749	¥83,854,648
二次生産誘発額	¥270,802,925	¥232,218,294	¥38,996,896
<b>その他の間接的経済効果額</b>			
所得形成効果額	¥532,180,664	¥455,231,902	¥77,737,007
一次所得増加額	¥476,674,855	¥407,634,690	¥69,743,909
二次所得増加額	¥55,505,809	¥47,597,212	¥7,993,098
税収増大効果額	¥54,273,362	¥45,847,300	¥8,508,926
個人税収増大効果額	¥13,316,688	¥11,391,209	¥1,945,203
法人税収増大効果額	¥40,956,674	¥34,456,090	¥6,563,723
雇用創出効果（人）	245.45	207.13	38.72
一次雇用創出効果（人）	226.95	191.27	36.05
二次雇用創出効果（人）	18.50	15.86	2.66

※2022年度総計と「大会・学会」と「スポーツ」の合計数値には相違がある。これは、総数での計算値を基に推計したものと、各コンベンション別での計算値を基に推計した差である。

### 直接的経済効果額計（消費支出総額／最終需要）

「観光消費の経済波及効果」のうち、直接的経済効果額計（消費支出／最終需要）は12億63百万円と推計される。なお、この金額はコンベンション開催に伴い発生する直接的支出（主催者・参加者が直接消費する支出）の総計であり、各コンベンション開催の際に、参加者が姫路市内の飲食・宿泊・商品購入等に支出したものである。

1.参加者関連による消費支出総額

(1) 宿泊者数および日帰者数

	参加者数(人)	宿泊者数(人)	日帰者数(人)
	ア	イ	ウ(ア-イ)
参加者数(人)	38,047	10,916	27,131

(注) 公益社団法人姫路観光コンベンションビューロー作成資料より

(2) 参加者消費金額

	宿泊者		日帰者	
	1人当たり消費金額	消費金額推計	1人当たり消費金額	消費金額推計
	エ	オ(イ×エ)	カ	キ(ウ×カ)
宿泊費	¥16,662	¥181,882,392		
飲食費	¥9,329	¥101,835,364	¥4,643	¥125,969,233
市内交通費	¥1,255	¥13,699,580	¥286	¥7,759,466
土産購入費	¥3,577	¥39,046,532	¥1,857	¥50,382,267
その他	¥1,215	¥13,262,940	¥571	¥15,491,801
計	¥32,038	¥349,726,808	¥7,357	¥199,602,767

(3) 参加者(宿泊者+日帰者)の消費金額合計

	消費金額推計
	ク(オ+キ)
宿泊費	¥181,882,392
飲食費	¥227,804,597
市内交通費	¥21,459,046
土産購入費	¥89,428,799
その他	¥28,754,741
計	¥549,329,575

(注) 消費金額とその内訳は、令和4年度開催コンベンションで行ったアンケート(31コンベンション)の結果を基に、1人当たりの金額を算出した。

2.主催者関連による消費支出総額

	内容	消費支出金額
宿泊費	参加者	¥29,524,611
飲食費	関係者飲食費、参加者レセプション	¥35,251,384
市内交通費	出発から現地含まず	¥6,528,866
土産購入費	参加者記念品、お土産	¥15,698,692
遊興・娯楽費	アフターコンベンション、アトラクション等	¥2,690,940
会場費	会場利用費	¥128,809,519
事務局費	事前会議費、事務用品費	¥245,182,258
運営管理費	翻訳、翻訳関連、速記、警備等	¥27,933,915
会場設備工事費	看板制作、会場設営	¥49,361,410
機材レンタル費	電話、OA機器、同時通訳機器、AV機器	¥55,415,653
印刷製本費	広報資料作成費、会議資料作成費	¥41,367,005
運送・輸送費	タクシー、バス借、観光視察輸送代等	¥27,214,480
臨時雇用費	受付、事務局スタッフ	¥27,233,537
その他		¥21,685,400
計		¥713,897,669

	最終需要額
	A
商業	¥674,882,651
運輸業	¥55,202,392
対個人サービス業	¥533,142,201
計	¥1,263,227,244

注: 最終需要額A=直接的経済効果(最終需要額)を支出先産業別に3部門に分類

## 間接的経済効果額計（一次生産誘発額と二次生産誘発額の合計）

「観光消費の経済波及効果」のうち、間接的経済効果額計（一次生産誘発額と二次生産誘発額の合計）は17億11百万円と推計される。

なお、この金額は「2 直接的経済効果額計」（参加者の消費活動）から新たに生じた需要に応えるために、姫路市内における各産業が生産活動（原材料・サービス）を行うことで生じた効果を表したものである。

### 1.一次生産誘発効果

	最終需要額	生産誘発係数	一次生産誘発額
	A	B	C(A×B)
商業	¥674,882,651	1.113044	¥751,174,086
運輸業	¥55,202,392	1.109500	¥61,247,054
対個人サービス業	¥533,142,201	1.177821	¥627,946,080
計	¥1,263,227,244		¥1,440,367,220

注：最終需要額A＝直接的経済効果（最終需要額）を支出先産業別に3部門に分類

注：生産誘発係数B＝逆行列係数列和（平成23年姫路市産業連関表、[I-(I-M)A]-1型より）

### 2.二次生産誘発効果

#### (1)一次生産誘発額から出た付加価値額

	一次生産誘発額	付加価値率	付加価値額
	C	D	E(C×D)
商業	¥751,174,086	0.596926	¥448,395,086
運輸業	¥61,247,054	0.472941	¥28,966,267
対個人サービス業	¥627,946,080	0.385309	¥241,953,136
計	¥1,440,367,220		¥719,314,489

注：付加価値率D＝（雇用者所得＋営業余剰）／生産額（平成23年姫路市産業連関表より）

#### (2)新たな民間消費支出額

	付加価値額	消費性向	民間消費支出額
	E	F	G(E×F)
計	¥719,314,489	0.809528	¥582,304,908

注：消費性向F＝民間消費支出（内生部門）／雇用者所得（内生部門）＋営業余剰（内生部門）

（平成23年姫路市産業連関表より）

#### (3)二次生産誘発額（誘発効果額）

民間消費支出額	最終需要生産誘発係数	逆行列係数列和平均	二次生産誘発額
G	H	I	J(G×H×I)
¥582,304,908	0.406321	1.144547	¥270,802,925

注：最終需要生産誘発係数H＝最終需要項目別生産誘発係数（民間消費支出部門の合計値）

注：逆行列係数列和平均I＝全産業における逆行列係数列和の平均値

（平成23年姫路市産業連関表より）

### 3.生産誘発効果額推計（一次＋二次）

	一次生産誘発額	二次生産誘発額	生産誘発効果額推計
	C	J	K(C+J)
計	¥1,440,367,220	¥270,802,925	¥1,711,170,145

## その他の間接的経済効果

### 1 所得形成効果

2022年度（令和4年度）において、兵庫県姫路市で開催された各コンベンション〔大会（一部エキスカーションを含む）・学会・スポーツ〕への参加者が、姫路市にもたらした観光消費の所得形成効果額（一次所得増加額と二次所得増加額の合計）は5億32百万円と推計される。

姫路市内における一次生産誘発効果及び二次生産誘発効果は、生産額増加を招くと同時に、同市内の雇用者に対する所得増加をもたらすが、上記金額はその効果を表したものである。

#### その他の間接的経済効果(所得形成効果)

(1.一次生産誘発効果による所得増加額+2.二次生産誘発効果による所得増加額)

##### 1.一次生産誘発効果による所得増加額

	一次生産誘発額	雇用者所得率	一次所得増加額
	C	L	M(C×L)
商 業	¥751,174,086	0.388008	¥291,461,845
運 輸 業	¥61,247,054	0.398280	¥24,393,448
対個人サービス業	¥627,946,080	0.256104	¥160,819,562
計	¥1,440,367,220		¥476,674,855

注：雇用者所得率L＝雇用者所得/域内生産額（平成23年姫路市産業連関表より）

##### 2.二次生産誘発効果による所得増加額

	二次生産誘発額	全産業雇用者所得率	二次所得増加額
	J	N	O(J×N)
計	¥270,802,925	0.204968	¥55,505,809

注：全産業雇用者所得率N＝全産業雇用者所得合計額/全産業市内生産額合計

##### 3.所得形成効果額推計（一次+二次）

	一次所得増加額	二次所得増加額	所得形成効果額推計
	M	O	P(M+O)
計	¥476,674,855	¥55,505,809	¥532,180,664

### 2 税収増大効果

2022年度（令和4年度）において、兵庫県姫路市で開催された各コンベンション〔大会（一部エキスカーションを含む）・学会・スポーツ〕への参加者が、姫路市にもたらした観光消費の税収増大効果額（個人税収増大効果と法人税収増大効果の合計）は54百万円と推計される。

姫路市内における生産誘発効果によりもたらされた雇用者所得及び生産誘発額増加は、同時に同市の得る税収の基礎となる個人及び企業の所得増加を生み出す。上記金額はその税収増加の効果を表したものである。

**その他の間接的経済効果(税収増大効果)**  
(1.個人からの税収増大効果額+2.法人からの税収増大効果額)

1.個人からの税収増大効果額

	所得形成効果額	税収係数	個人税収増大効果額
	P	Q	R(P×Q)
計	¥532,180,664	0.025023	¥13,316,688

注: 税収係数Q=個人市民税調定額(平成23年度)/雇用者所得額(平成23年姫路市産業連関表より)

2.法人からの税収増大効果額

	生産誘発効果額	税収係数	法人税収増大効果額
	K	S	T(K×S)
計	¥1,711,170,145	0.023935	¥40,956,674

注: 税収係数S=法人市民税調定額(平成23年度)/営業余剰(平成23年姫路市産業連関表より)

3.税収増大効果額推計(個人+法人)

	個人税収増大効果額	法人税収増大効果額	税収増大効果額総計
	R	T	U(R+T)
計	¥13,316,688	¥40,956,674	¥54,273,362

### 3 雇用創出効果

2022年度(令和4年度)において、兵庫県姫路市で開催された各コンベンション[大会(一部エクスカーションを含む)・学会・スポーツ]への参加者が、姫路市にもたらした観光消費の雇用創出効果(一次雇用創出効果と二次雇用創出効果の合計)は245.4人と推計される。

なお、この数値は姫路市内における消費支出によりもたらされた生産誘発効果によって、同市内の全産業にわたって引き起こされた雇用機会増加の効果を人数で表したものである。

**その他の間接的経済効果(雇用創出効果)**  
(1.一次生産誘発効果による雇用創出効果+2.二次生産誘発効果による雇用創出効果)

1.一次生産誘発効果による雇用創出効果

	一次生産誘発額	就業係数	雇用創出効果
	C	V	W(C×V)
商 業	¥751,174,086	0.00000016	123.60
運 輸 業	¥61,247,054	0.00000009	5.39
対個人サービス業	¥627,946,080	0.00000016	97.95
計	¥1,440,367,220		226.95

注: 就業係数=平成23年度兵庫県産業連関表より

2.二次生産誘発効果による雇用創出効果

	二次生産誘発額	就業係数平均	雇用創出効果
	J	X	Y(J×X)
全産業	270,802,925	0.00000007	18.50

注: 就業係数平均X=平成23年度兵庫県産業連関表より

3.雇用創出効果総計(一次+二次)

	一次雇用創出効果	二次雇用創出効果	雇用創出効果総計
	W	Y	Z(W+Y)
計	226.95	18.50	245.45